

ため池の 保全・管理活動事例集



平成25年6月

農林水産省 農村振興局 防災課

目 次

1. はじめに	1
2. 保全管理活動事例の概要	2
3. 期待される管理活動のあり方	4
4. 保全・管理活動事例	5

1. はじめに

ため池の多くは、農家や水利組合等で管理されてきましたが、近年では農家の減少や農業者の高齢化が進み、農業関係者のみの管理は困難となり保全・管理体制の脆弱化が進行しています。

また、農村地域の一部では混住化が進むなどして、周辺の環境が変化しているため池も少なくありません。

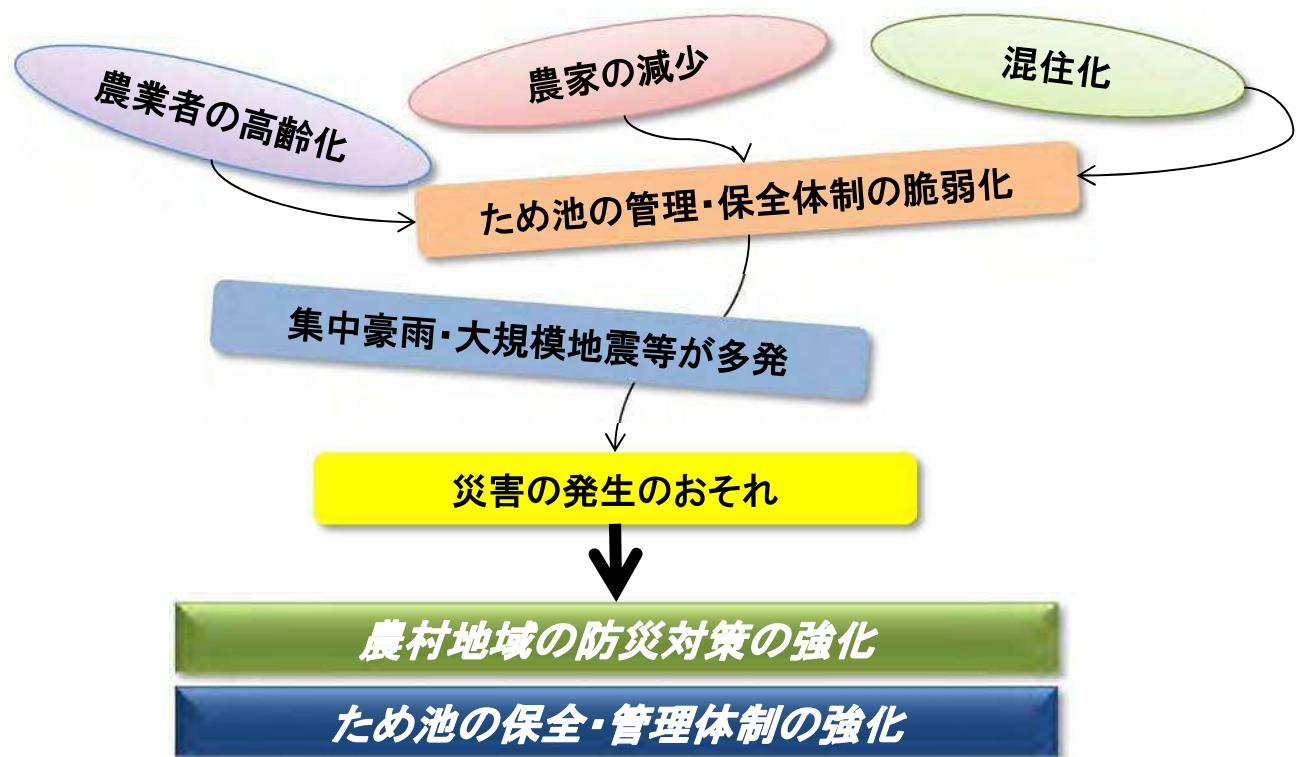
一方、近年では、集中豪雨や大規模地震が多発していることから、ため池の老朽化対策や耐震対策を行い、農村地域の防災・減災対策を強化する必要があります。

ため池の適正な保全・管理は、施設の長寿命化を図るだけでなく、防災対策の基礎となるものであることから、管理体制や周辺の環境に応じて、適正に保全管理していく必要があります。

このため、各地域において、ため池の保全管理活動が強化されるように都道府県における様々な保全管理活動事例を参考資料として取りまとめました。

本事例集には、農業関係者以外の団体等とともに活動を実施している例や活用した事業について記述していますので、各地域において、本事例集を参考に保全・管理活動を検討して頂くとともに、実施に向けた取組を行って頂けるようお願いします。

また、これらの活動は、継続的に実施することが重要ですので、既に活動を実施されている地域においても本資料を参考に継続的な保全・管理活動が行われるよう検討をお願いします。



2. 保全・管理活動事例の概要

都道府県から収集した事例の概要は下表のとおりです。

補助事業（農地・水保全管理支払交付金）

管理者	活動組織	連携相手	取組内容	成果等
・市町村 ・土地改良区 ・水利組合			<p>【施設の保全・管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草刈り、定期点検 ・施設補修 ・看板などの設置 ・体制整備 <p>【啓蒙普及】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史、文化等の学習会 <p>【自然環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希少種保護 ・外来種駆除 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の適正管理 ・安全性の向上
				<ul style="list-style-type: none"> ・後継者や児童へ役割、重要性、危険性を周知
				<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保全 ・多面的機能の広報
工夫した点				<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域の団体との連携 ・施設を教育の場として提供 ・非農業者と連携した活動の実施

都道府県・市町村単独事業

管理者	事業主体	連携相手	取組内容	成果等
・市町村 ・土地改良区 ・水利組合	・都道府県 ・市町村	・都道府県 ・市町村 ・団体 ・地域住民 ・NPO法人 ・コンサルタント	<p>【啓蒙普及】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源と防災の啓蒙活動 ・一般住民へ施設機能や管理の重要さの認識を深めるイベントを開催 <p>【自然環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希少種保護 ・外来種駆除 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備内容と実施者を明確化し計画を策定 ・実体験により一般住民の認識を高揚
				<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保全 ・多面的機能の広報
工夫した点				<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップにより整備計画を検討 ・池干しと併せて歴史なども説明 ・非農業者と連携した活動の実施

事業を活用していない活動例

管理者

- ・市町村
- ・土地改良区
- ・水利組合

連携相手

- ・都道府県
- ・市町村
- ・大学
- ・小中学校
- ・地域住民
- ・団体

取組内容

【施設の保全・管理】

- ・草刈り、清掃活動
- ・施設補修

成果等

- ・施設の適正管理
- ・安全性の向上

【自然環境】

- ・希少種保護
- ・外来種駆除

- ・自然環境の保全
- ・多面的機能の広報

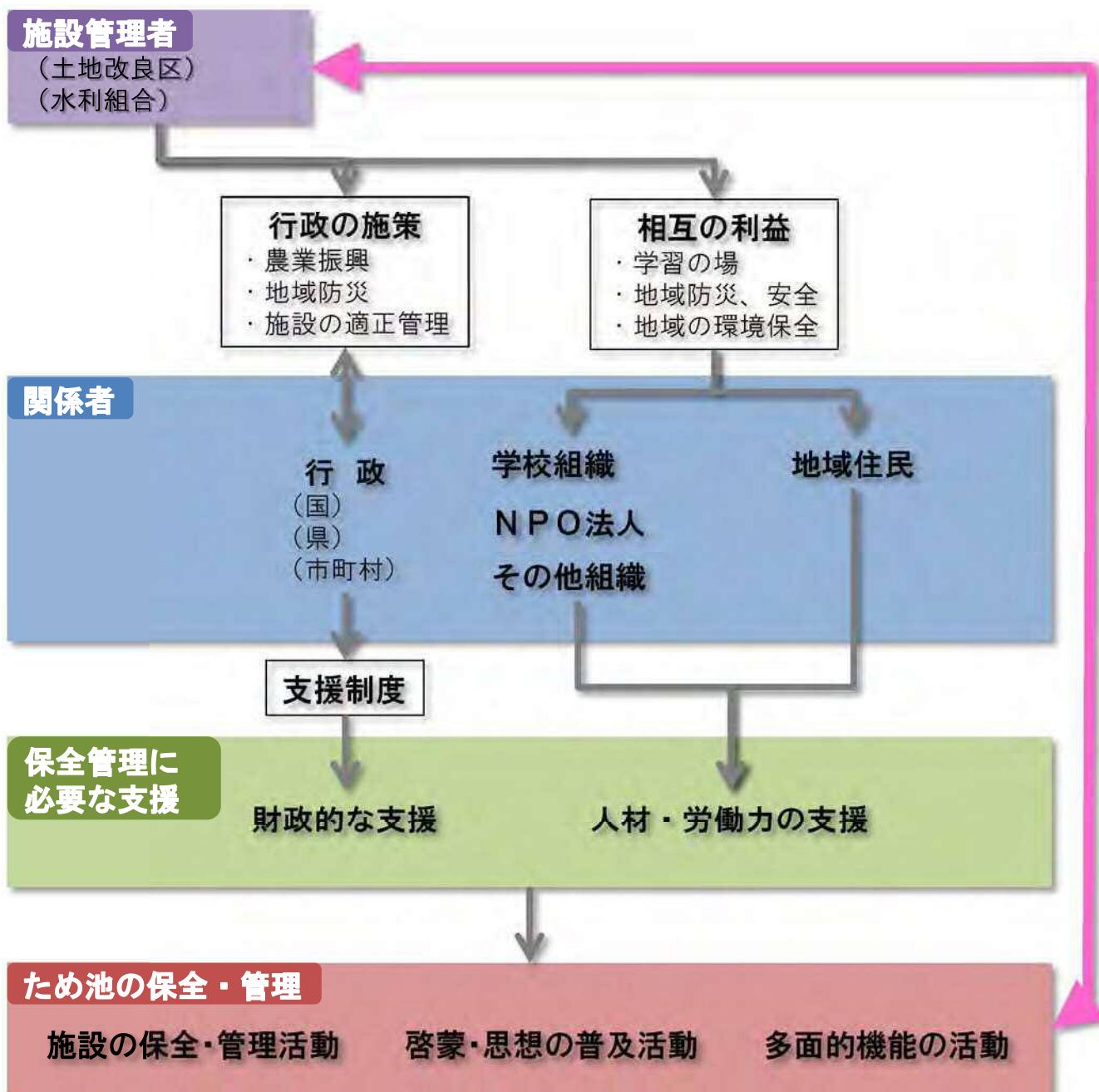
工夫した点

- ・大学の研究室とタイアップ
- ・農業者と漁業者の交流
- ・非農業者と連携した活動の実施

3. 期待される管理活動のあり方

各地域において、都道府県及び市町村の行政、JAや土地改良区及び水利組合等の農業者、NPO法人や学校などの外部組織、地域住民が連携して、施設管理、啓蒙普及活動、自然環境等多面的機能の発揮などの活動が行われており、これらは、補助事業や交付金、県・市町村単独事業による補助の有無に拘わらず活動されています。

のことから、今後、ため池の保全・管理活動を継続し、発展させるためには、以下のように施設管理者である土地改良区や水利組合が他の組織や地域住民と相互の利益を見出し、繋がり・関係を持ち、他の組織が人材や労働力を提供し、行政が施策として財政的な支援などを行うことにより、関係する複数の団体や個人により、保全・管理されるあり方が期待されます。



4. 保全・管理活動事例

各事例は、以下の記入要領により収集したものです。

各地域において、これらの事例を参考に各関係団体などとの連携を検討して頂き、ため池の多面的機能などを見出すとともに、地域によりため池が保全・管理されていくことを期待します。

【記載要領】

都道府県名	〇〇県	市町村名	〇〇市
ため池管理者	ため池の管理者（管理委託先）	ため池規模	かんがい受益 ha
連携活動状況			

写真・概要図等

事業主体又は活動組織	連携事業等の事業主体もしくは連携活動の中心的役割を果たした組織（農地・水保全管理支払交付金または事業のない場合は、活動組織）
連携相手	連携した相手（組織）
活動事業名	公共事業等活用した制度
課題・取組内容	活動連携を行う前に生じていた、管理等の問題点について具体的に記載。その問題に対し、どのような取組を実施したか記載。
工夫した点等	連携のために問題となった事項や工夫した内容について記載。
成果・今後の課題	活動連携を行った結果、どのような効果が得られ、また今後どのような課題が浮かび上がったのか、具体的に記載。
その他の	活動にかかった費用、参加人数等の活動規模が分かる内容及びその他補足事項を記載。

都道府県名	宮城県	市町村名	角田市	
ため池管理者	角田隈東土地改良区		ため池規模	119 ha
連携活動状況	※ 9つのため池の合計面積			

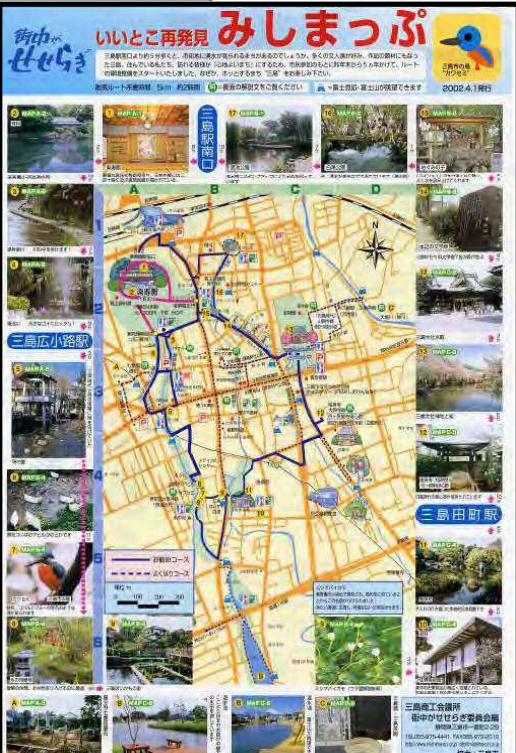


事業主体	角田隈東土地改良区
連携相手	「地域のため池を考える会」、角田市、宮城県
活用事業名	県単中山間地域等農村活性化住民活動支援事業
課題・取組内容	本地域のため池(9箇所)を対象に、その多様な資源の啓蒙普及と老朽化等によって予想される災害を未然に防止するための地域活動を実施することを目的に設立された「地域のため池を考える会」の活動として、ワークショップ形式により話し合いを6回開催。
工夫した点等	<p>①地域が4つの集落等に分かれているが、地域の現状を理解してもらうため、地区のため池のみでなく、参加者全員で地域内ため池の現地調査を行った。</p> <p>②各ため池の歴史文化、動植物、ため池の状況等を「活用している」「活用できそう」「活用は難しい」等の項目に分け、提案や希望を出し合った。</p> <p>③②をもとに、1年を通して「実践してみたい地域活動の『夢』」や「整備して欲しい施設」の希望等を取りまとめた。</p>
成果・今後の課題	<p>「隈東地域の将来像」として、①「ため池整備に関すること」、②ため池及びため池周辺の管理に関すること、③「地域の活性化に関すること」に分類し取りまとめた。</p> <p>↓</p> <p>①については、行政主体で地域ため池総合整備事業を活用し、ため池整備を行うこととした。</p> <p>②、③については、地域主体での管理を促すため、保全隊を設立することとした。</p>
その他	<p>平賀地区(猿田ため池··20人 草刈り機刃、燃料、芋煮材料 56,306円) 仙石地区(仙石ため池··16人 草刈り機刃、苗木代 49,286円) 内町地区(内町ため池··55人 竹細工交流費(流しそうめん、お茶)、りんどう培土 50,282円) 島田地区(諏訪部・池田ため池··58名人 草刈り機刃、燃料、ホタル観賞会用お茶、47,472円) ワークショップ(延べ96人、デジタルカメラ、郵送料、お茶 39,200円) 合計 延べ245名 242,546円</p>

都道府県名	宮城県	市町村名	東松島市	
ため池管理者	東松島市		ため池規模	3 ha
連携活動状況				



活動組織	中下区環境保全隊
連携相手	一
活用事業名	農地・水保全管理支払交付金
課題・取組内容	水路や農道の保全活動と併せて、ため池の適正管理として、草刈りや定期点検を実施し、かんがい期前の付帯施設の清掃、除塵等を実施。また、異常気象時の施設の安全確認や必要に応じて応急措置を実施。
工夫した点等	地域の資源としてため池の規模、機能を認知し、施設を安全に使用するための適正管理について理解を深めた。
成果・今後の課題	保全隊(地域住民)により適正管理が継続的に実施された。
その他	参加人数39名(農家33名、非農家6名)、作業時間:4時間、経費:171,700円(日当126,400円)、機械(草刈り機)45,300円。 年間5回実施(内 草払い等3回)、参加延べ人数117名、経費394,000円。

都道府県名	静岡県	市町村名	三島市	
ため池管理者	中郷用水土地改良区		ため池規模	186 ha
連携活動状況	中郷温水池			
				
事業主体	中郷用水土地改良区			
連携相手	市、NPO法人(グランドワーク三島)			
活用事業名	—			
課題・取組内容	<p>NPO法人グランドワーク三島が中心となり、中郷用水土地改良区や三島市と協働し地域住民参画による水辺や中州の草刈り、清掃活動を実施するなど継続的にため池の保全活動を実施。</p> <p>市と部農会・グラウンドワーク三島・市民とによる協働作業により、外来種の除去作業なども実施。</p>			
工夫した点等	<p>池周辺の自然植生を復元したことにより、三島市の中心部に存在しながら貴重な自然と触れ合うことのできる水と緑の景観を創出した。</p>			
成果・今後の課題	<p>ため池百選に選定され、知名度を上げた。</p> <p>水辺自然環境の再生を行ったことで、隣接する小中学校による実践的な環境教育の場や市民の憩いの場として多目的に利活用された。</p> <p>ため池上流の源兵衛川と併せて散策コースの一部となっており、都市住民を巻き込んだ清掃活動などにより地域活性化に大きく貢献した。</p>			
その他	生き物調査等 約30名 参加 (費用6万円)／回			

都道府県名	静岡県	市町村名	掛川市	
ため池管理者	水利組合		ため池規模	63 ha
連携活動状況	田ヶ池			
				
	<p>法面の草刈り (農地・水保全管理支払交付金の活動)</p> <p>田ヶ池内での「クリーン作戦」の様子</p>			
				
	<p>中小学校の生徒達に田ヶ池の歴史や役割を伝える学習会の開催</p> <p>中小学と活動組織による看板設置</p>			
活動組織	中地域緑化を進める会			
連携相手	農業者、自治会、JA遠州夢咲、大井川右岸土地改良区、中小学校 等			
活用事業名	農地・水保全管理支払交付金			
課題・取組内容	<p>平成20年度から「農地・水保全管理支払交付金」に取り組み、田ヶ池周辺の住民だけでなく、自治会やJA、大井川右岸土地改良区等と連携し、地域全体で「田ヶ池」や周辺の農地・農業用施設の保全活動を実施。</p>			
工夫した点等	<p>地域の将来を担う子供たちに、ため池の役割・歴史を伝えるため、年1回、中小学校の生徒を対象に「田ヶ池学習会」を開催している。</p> <p>また、地域内を流れる亀怒川で生きもの調査を実施し、河川美化への意識向上を図るために活動組織と小学校が連携し看板を設置する等、地域の自然環境へ関心を持ってもらう活動を積極的に行っている。</p>			
成果・今後の課題	<p>「田ヶ池」は地域の財産という意識で景観保全活動に取り組んでおり、地域住民が景観保全の重要性を再認識し、施設の維持管理を通じて自然環境への愛着を持つことができた。</p> <p>今後も地域が一体となった活動で、農地が保全され、次世代の担い手へ継承されていくこと、親水公園、展望デッキ、遊歩道等の施設を活用し、多くの人が親交の場として「田ヶ池」に訪れ、地域の活性化が図られることが期待される。</p>			
その他	参加人数 延450名 活動費用 300,000円			

都道府県名	長野県	市町村名	上田市	
ため池管理者	塩田平土地改良区(保野農家組合)		ため池規模	50 ha
連携活動状況				



活動組織	保野水土里会
連携相手	—
活用事業名	農地・水保全管理支払交付金
課題・取組内容	<p>ため池堤体上流法面保護工において、経年劣化によるコンクリートブロックの欠損等が著しいため、農地・水の活動地域内に指定し、同交付金を活用して目地、コンクリートブロックの補修を実施。</p> <p>また、ため池下流法面に自生する希少植物の保全活動や、保護のための看板設置を実施。</p>
工夫した点等	農家組合は自主財源が脆弱なため、農業用施設の補修には、行政や関係団体に大きく依存してきたが、小修繕などは、農地・水等を活用し、非受益者へ協力を得て、計画的な活動や直営施工で実施することにより工事費を安価に抑えた。
成果・今後の課題	次世代に良好な環境を引き継ぐため、継続的な活動をしていきたい。
その他	工事概要 法面保護工補修 1式、看板設置工 1式 工事費用 約600千円(農地・水)

都道府県名	富山県	市町村名	氷見市	
ため池管理者	氷見市土地改良区		ため池規模	2 ha
連携活動状況				



事業主体	乱橋池周辺のトンボと自然を守る会
連携相手	氷見市海浜植物園、氷見市生涯学習課
活用事業名	富山県農村環境創造基金事業
課題・取組内容	乱橋池周辺の休耕田の増加、山林の放置などにより、古タイヤ等が不法投棄されるなど、周辺環境の変化による生態系の悪化が進行していた。 これを防止するために、草刈をはじめとしたため池周辺の維持管理活動を実施。
工夫した点等	絶滅危惧種を含めた65種類のトンボが存在していることから、乱橋池周辺のトンボと自然を守る会のほか、地元自治会・地元小学校・土地改良区や市などと維持管理について検討会を実施した。
成果・今後の課題	地元小学校によるトンボの観察会やボランティア等によるトンボ教室など、乱橋池を環境学習の場として活用している。 乱橋池周辺には、民有竹林があるが極端な繁茂、放置は生態系に悪影響を与える。これらの管理や管理に要する費用が今後の課題となっている。
その他	写真 トンボ観察会(2012年度 親子トンボ教室) 参加者:親子15組(30人)

都道府県名	福井県	市町村名	永平寺町	
ため池管理者	松岡吉野土地改良区		ため池規模	2 ha
連携活動状況				

生物捕獲状況



ため池生き物観察状況



活動組織	吉野の郷を守る会
連携相手	地元、小学生
活用事業名	農地・水保全管理支払交付金
課題・取組内容	外来種目当ての釣り人が増加し、ため池施設での水難事故を未然に防ぐ周知及び希少水生生物の保護を目的とし、平成19年度において、当ため池の生態系調査及外来種駆除を実施し、平成23年度に外来種駆除の経過を観察。
工夫した点等	小学生の教育を兼ねて実施したが、地元との日程調整や案内等に苦労した。
成果・今後の課題	今回の生態系調査では、前回外来種を排除した効果もありアメリカザリガニ(10匹程度)は確認されたが、その他の外来種は見られずギンブナやカワムツ等の在来種が多数発見できた。また新たにコイを放流したが、問題なく生息していた。 今回の結果には問題ないが、今後、外来種が発生しないよう継続して管理する必要がある。また外来種が発生した場合の対応方法など、検討する必要がある。
その他	参加人数 20名程度 費用 6万5千円 本地区は環境に关心を示す人が多い

都道府県名	岐阜県	市町村名	土岐市	
ため池管理者	土岐市		ため池規模	104 ha
連携活動状況				



事業主体	岐阜県
連携相手	土岐市、地元住民、コンサルタント
活用事業名	清流の国ぎふ森林・環境基金事業
課題・取組内容	農業用ため池は、農業用の水を貯めておく役割だけではなく、魚や貝、昆虫等の多くの生きものが生息する里地の一部を形成しているが、近年は耕作放棄地の増大によるため池の管理不足、外来種の侵入など様々な要因により環境が崩れつつあるため、ため池に生息する外来種を駆除することにより、里地の生態系の保全を図るモデル的な取組み等を推進。
工夫した点等	ため池の水を抜く際に外来種が下流へ逃げないように、水路に何箇所も網を設置し捕獲した。泥が多く堆積していたため、ため池に入っての捕獲は不可能であったが、ボートなどを活用して捕獲を行った。また、捕獲した魚類の同定作業を行い、在来種については近隣のため池に放流し保護した。
成果・今後の課題	結果的に本ため池は在来種が多く外来種の生息数は少なかったが、ため池の水位をかなり下げたことで大部分の外来種を駆除することができた。(駆除した魚類: ブラックバス等79匹) 今後は、外部からの放流を禁止する啓発看板を設置すると共に、地域において同様の活動を推進していきたい。
その他	参加人数:46人(地元住民、コンサルタント、土岐川観察館、土岐市、県) 活動費用:約500千円

都道府県名	愛知県	市町村名	半田市	
ため池管理者	半田市		ため池規模	17.5 ha
連携活動状況				

南廻間池 池干し見学

有脇の農地・水・緑を守る会と有脇小学校児童、総勢500名以上による南廻間池の“かいどり”（池干しの地元呼称）の状況を見学しました。



有脇の農地・水・緑を守る会による説明



児童参加による“かいどり”状況

活動組織	有脇の農地・水・緑を守る会
連携相手	有脇小学校児童、地域住民、愛知県知多農林水産事務所等
活用事業名	農地・水保全管理支払交付金
課題・取組内容	有脇の農地・水・緑を守る会の活動エリアに5つのため池があり、毎年1箇所づつ、池干しを実施し外来魚の駆除、水質の改善を図っている。
工夫した点等	子供が安全に池に入ることができるように、足袋を履き、池に下りるための梯子を設置した。 外来魚の捕獲方法を説明した。 在来魚を保護するための大きな水槽を作成した。
成果・今後の課題	平成22年に開催した「2010ため池フォーラムinあいち」で池干しの事例発表。同現地見学コースに組み入れ、小学生が外来種の駆除をしている姿を参加者に見学してもらった。
その他	活動費 109千円（足袋、道具、食材等） 参加人数 計 525名（小学生 192名、父兄、先生、ため池フォーラム参加者 他）

都道府県名	京都府	市町村名	綾部市	
ため池管理者	綾部市(受益者)		ため池規模	0.9 ha
連携活動状況				



活動組織	西和の里協議会
連携相手	—
活用事業名	農地・水保全管理支払交付金
課題・取組内容	木栓が古くなっていることに加え、開栓のために水面近くまで行くことは危険であると以前から集落内で話題に上っていたことから、農地・水保全管理支払交付金を活用して金属栓に更新。
工夫した点等	農地・水の活動組織内の構成による直営施工として工事費を安価に抑えた。
成果・今後の課題	堤体の上からも開栓できるようになり、施設の安全性の向上が図られた。この集落にはため池が多く、まだ同じようなため池が多く存在するため、順次更新していく。
その他	工事費用 336,365円(農地・水)

都道府県名	大阪府	市町村名	堺市	
ため池管理者	堺市太田之内土地改良区		ため池規模	3 ha
連携活動状況				
				
				
				
事業主体	陶の里水系協議会(改良区、水利組合、自治会で構成)			
連携相手	府立大学、自治会、小中学校、堺市			
活用事業名	平成14年度に農林水産省の「地域ぐるみため池保全活動支援事業」を活用			
課題・取組内容	<p>ため池改修を契機に、改良区、自治会が連携して地域づくり活動を開始。</p> <p>活動内容:ため池、水路の清掃活動。オーナー農園。市民農園。遊休農地再生。植栽。直売。情報誌の発行。イベント開催。</p> <p>高齢化、担い手不足の中、リーダーや活動者不足が懸念される中、継続、発展した活動となるよう府立大学と連携。</p>			
工夫した点等	<p>平成14年に「午池水系ため池保全協議会」として設立後、平成20年4月に現在の名称に変更。</p> <p>府立大学の研究室とタイアップし、コーディネーター、ファシリテーターとして継続支援。</p> <p>ため池に加え、地域の農の資源を活用し、都市住民との交流、資金確保。</p> <p>情報発信グループ、花と緑の里づくりグループなど多様な活動グループとリーダーを育成。</p> <p>季刊誌「陶の里便り」の発行も36号を迎え、情報発信に努めている。</p>			
成果・今後の課題	<p>地域活性化、環境保全面では効果大。</p> <p>フェンス、ゲート、水路などハード施設の更新、管理は高齢化、担い手不足である改良区が継続して行う必要がある。</p>			
その他	府では、オアシス構想に基づき、多様な主体によるオアシスコミュニティ協議会による、さまざまな保全活動を取り組んでいるが、農用地が少なく農地・水保全管理等対象外。			

都道府県名	兵庫県	市町村名	洲本市、南あわじ市、淡路市
ため池管理者	宝珍池ほか	ため池規模	一 ha
連携活動状況			



事業主体	淡路県民局洲本土地改良事務所
連携相手	堺小学校(洲本市)、松帆小学校(南あわじ市)、浦小学校(淡路市)
活用事業名	県単事業(地域夢推進費)
課題・取組内容	小学生を対象に、ため池の持つ機能や役割及びため池の維持管理の大切さを伝え、併せて、ため池に潜む危険性を認識してもらう「ため池教室」を実施。
工夫した点等	教室内ではパワーポイントを使い、クイズを入れ興味を引くように説明した。 現地では、ため池の構造等の説明と併せて、ため池周辺における生き物調査やパックテストによる水質調査(pH、COD)などの環境学習を兼ねた内容とした。
成果・今後の課題	ため池教室を開催することにより、多くの児童がため池に興味を持つきっかけづくりになっており、地域の将来を担う子供たちが、ため池の保全活動へ参加することを期待する。
その他	参加人数 のべ100名 費用 10,000円

都道府県名	兵庫県	市町村名	淡路市	
ため池管理者	一谷池田主(水利組合)		ため池規模	ー ha
連携活動状況				



事業主体	浦川地域ため池・里海交流保全協議会
連携相手	協議会構成員(漁協、ため池協議会等7団体)、兵庫県、淡路市、兵庫県立大学淡路キャンパス
活用事業名	県単事業(地域夢推進費)、copeこうべ環境基金、豊かな海づくり助成金
課題・取組内容	防災・減災の面から、ため池の適正な管理と海への栄養分供給による豊かな里海の再生を促進するため、農業者と漁業者が交流し、池干し(かいぼり)を実施。 活動5年目を記念して「浦川地域かいぼりまつり」を実施し、活動の内容、効果等を広くPRした。
工夫した点等	農業者と漁業者が交流して取り組む「ため池・里海交流保全活動」のエリア拡大や活動の継続を図ることを目的に、協議会主催のイベントを開催し、活動内容や効果をPRした。また、農業者や漁業者だけでなく、広く県民の意識高揚を図るために、県が主催で”淡路ため池里海交流フォーラム2012”を開催し、事例発表やパネルディスカッションを行うなど情報発信・普及啓発に努めている。
成果・今後の課題	池干し(かいぼり)を通じて、農業者と漁業者等、地域間の連携が図れた。また、淡路島の他地域への波及効果がみられた。 今後この取り組みをさらに広げるために効果検証やさらなる情報発信が必要となる。
その他	参加人数 80名 費用 1,200千円

都道府県名	和歌山県	市町村名	橋本市	
ため池管理者	似賀尾池水利組合		ため池規模	50.2 ha
連携活動状況				



活動組織	似賀尾池水路組合
連携相手	和歌山県、橋本市、恋野・隅田小学校児童及び保護者、隅田中学校生徒
活用事業名	一
課題・取組内容	似賀尾池の改修に先駆け当池に生息する外来魚駆除を目的に釣り大会を開催。また、池にごしの開催や啓発看板を設置した。
工夫した点等	県立自然博物館学芸員を招き、外来魚の説明、解剖等を行い、生態系保護について児童に関心を持ってもらえるよう取り組んだ。 参加した児童が使用した釣り竿等は、夏休みの思い出の一つになるよう記念品として贈呈した。
成果・今後の課題	本県では、ため池改修に先駆け、水位低下後に小学校児童を招き、池にごしを実施。今回、似賀尾池で実施した釣り大会は初の試みであったが、夏休み期間の思い出になつたといったこともあり、今後も継続して実施できるよう関係市町村との連携協力を図りたい。
その他	振興局コンペ事業『守ろう！ため池！』に位置付け外来魚駆除に取り組んだ。 活動費用: 1,500千円 【親子釣り大会】 参加人数: 68名(児童39名・保護者29名) 【池にごし】 参加人数: 49名(児童27名・保護者22名)

都道府県名	鳥取県	市町村名	鳥取市	
ため池管理者	白兎水利組合(岡ノ谷溜池)		ため池規模	10 ha
概要図				
活動組織	内海地区農地・水・環境保全向上活動推進協議会			
連携相手	-			
活用事業名	農地・水保全管理支払交付金			
課題・取組内容	<p>ため池の斜樋及びバルブが老朽化し、バルブ操作による放水が不完全状態であったことから、代掻き時期等の用水が多く必要な時に用水不足をきたす状況であった。このため、農地・水の活動地域内に指定し、同交付金を活用しため池の補修を行った。</p>			
工夫した点等	<p>工事のためには、完全な水抜きが必要であるが、いつでも簡単に行えるものではないため、後日手戻りが起こらぬよう、斜樋をはじめ堤内各部を念入りに点検を行った。</p>			
成果・今後の課題	苦労していた、バルブ操作が簡単に実行され、水量も確保されるようになった。			
その他	工事概要 斜樋及びバルブ更新一式 工事費用 421,000円(農地・水)			

都道府県名	鳥取県	市町村名	倉吉市	
ため池管理者	天神野土地改良区		ため池規模	6.7 ha
連携活動状況				



事業主体	天神野土地改良区
連携相手	NPO法人 養生の郷
活用事業名	とつとり井手・ため池活用推進交付金
課題・取組内容	近年、耕作農家が減少し、ため池管理の粗放化が問題となっていた。このため、NPO法人養生の郷が、周辺の竹林や農業用施設を活用したイベントを開催。
工夫した点等	イベントでため池の機能や構造、ため池の歴史を説明し、普段体験できない池干し作業を実際に体験し、作業後に獲れた鯉を参加者で味わい、一般の方の農業体験を通じて、施設の機能と管理の重要さへの認識を深めてもらった。
成果・今後の課題	関金地区のその他の団体と連携し、多様なイベント、農業体験を計画することで年間を通じた地域全体での取り組みを図りたい。
その他	活動費（479,591円 とつとり井手・ため池活用推進交付金事業補助金を含む） 参加人数 関係者 12人 参加者 44人

都道府県名	岡山県	市町村名	瀬戸内市	
ため池管理者	瀬戸内市		ため池規模	30.0 ha
連携活動状況				



事業主体	岡山県
連携相手	瀬戸内市、地元町内会、国府小学校
活用事業名	単県事業
課題・取組内容	ため池での事故防止を目的とし、改修前のため池へ国府小学校の児童を招き、ため池の持つ役割、たこを使った築堤の実習、生き物調査と外来魚の駆除を実施。
工夫した点等	お米作りに欠かせない「ため池」に興味を持つよう、紙芝居によりため池の造りを学び、たこ等を使って児童自ら築堤の実習を行った。 また、ため池の深さを感じさせるため、生き物調査として外来魚の駆除を実施した。
成果・今後の課題	出前講座に参加した児童から、「ため池の役割や造りなど、今まで知らないことがいっぱいあった」ことや、「ため池は思っていたより水深があり、危険だと感じた」ことなどの意見が出され、課題を達成することが出来た。
その他	国府小学校3年生 60人 児童へため池新聞、下敷き(ためいけいきものずかん)を配布

都道府県名	岡山県	市町村名	勝央町	
ため池管理者	勝央町(本谷池水利組合)		ため池規模	9.0 ha
連携活動状況				



満水時のため池



地区役員の説明



落水後のため池



生き物調査状況

活動組織	本谷池水利組合
連携相手	子供会
活用事業名	農地・水保全管理支払交付金
課題・取組内容	ため池での転落事故等を未然に防止するため、啓発活動を兼ねて町内子供会の児童を参集し、ため池の造りや水深がどれほどあるかなどを説明するとともに、ため池の生き物調査を実施。
工夫した点等	ため池の説明を行っても印象に残らない可能性があるため、落水後のため池を見せ、ため池に生息している生き物に触れることとした。
成果・今後の課題	ため池の水深について実感を持ったこと、ため池に生息する生き物に触れることで印象に残ったことにより、ため池は危険な場所であることを認識し、ため池周辺で遊ぶ児童が減った。
その他	町内子供会20人(大人10人、児童10人) 活動費 87,854円

都道府県名	山口県	市町村名	山口市	
ため池管理者	山口市糸根共同水利組合		ため池規模	60 ha
連携活動状況				



活動主体	春日資源保全会(農地・水組織)
連携相手	一
活用事業名	農地・水保全管理支払交付金
課題・取組内容	山口市糸根、中河原、立石集落の農地は未整備田で、高齢化、担い手不足の状況ではあるが、平成19年度より農地・水保全管理対策に取組み、非農業者・自治会・子供会が連携して、地域資源の保全活動を実施。 ため池における活動は、組織内に5箇所あるため池を毎年順次、水抜きを実施して、水面下の堤体法面やゲート等の施設を点検するとともに、外来種(ブラックバスやブルーギル等)を駆除。
工夫した点等	当初は、少数の限られたメンバーによる保全活動となるのではないかと懸念していたが、農地・水保全管理対策の意義等を自治会集会等で繰り返し主旨を説明することで、世代を超えた参加者が集結してくれた。
成果・今後の課題	今後、さらに若い後継者や非農業者に参画を促し、世代交代を図るとともに農地・水保全管理対策を有効利用していきたい。
その他	活動参加人数 22名 活動費用 39千円

都道府県名	徳島県	市町村名	阿波市	
ため池管理者	市場中央土地改良区・金清水利組合		ため池規模	110 ha
連携活動状況				



活動組織	金清地域資源保全隊
連携相手	—
活用事業名	農地・水保全管理支払交付金
課題・取組内容	県下で唯一「ため池百選」に選定されている金清1号池・金清2号池において、堤や周辺の美化清掃活動を同交付金を利用して行った。
工夫した点等	ため池の管理主体である土地改良区や水利組合では、美化活動まで対応が行き届かなかつたため、同交付金により資源保全隊を組織し、その構成員でもある地域の老人会に積極的な協力を呼びかけ、ゴミ拾い等の美化活動を行った。
成果・今後の課題	毎年継続して実施することにより、地域内における環境意識や美化意識の向上に寄与している。 当該ため池は、阿波市の重要な観光資源にも位置づけられていることから、市と積極的に連携を図り、その歴史的価値等について内外にPRしていくよう努力したい。
その他	活動費81,000円 水利組合役員11名 市場老人会会員12名

都道府県名	愛媛県	市町村名	東温市 他	
ため池管理者	東温市志津川土地改良区 他		ため池規模	83.7 他 ha
連携活動状況				



地域住民参加の池干しイベント



参加者に対して、ため池の構造や多面的機能、保全管理の必要性についての説明

事業主体	愛媛県
連携相手	地元住民
活用事業名	ため池環境保全促進事業(県単独予算)
課題・取組内容	<p>農家の減少と高齢化、混住化の進行により、ため池の管理が不十分な状況となっているほか、水質の悪化などにより、ため池の環境が悪化しており、持続的な保全管理に向けた体制の強化が課題。</p> <p>市街地周辺に数多く点在するため池において、伝統的なため池の管理作業である「池干し」を地域住民参加型のイベントとして実施。</p> <p>「池干し」イベントを通じて、ため池の持つ多面的機能に対する理解の促進や外来魚駆除に役立て、地域ぐるみで、ため池環境保全への気運を高め、「池干し」を地域恒例の行事として復活。</p>
工夫した点等	地域住民の参加を促すため、魚の掴み取り体験、ブラックバスの試食会、生き物調査、地域防災活動などを併せて実施。
成果・今後の課題	<p>平成23年度から2年間で3市1町の5箇所のため池において「池干し」を地元参加型イベントとしてモデル的に実施。</p> <p>農家及び地域住民約900名参加のもと、ため池施設の点検及び外来魚の駆除などを行い、ため池の保全管理体制の強化を推進。</p> <p>宅地化が進んだ集落下流域のため池では、生活雑排水などが流入し、アオコの発生や水草の繁茂等が著しいため、水草の腐敗や堆積土の流出による悪臭の発生などから、非農家のため池に対するイメージが低下し、協働活動への参加が消極的。</p>
その他	H23～H24年度 5カ所 事業費 2,367千円 地元住民 各90～250人程度参加

都道府県名	福岡県	市町村名	築上町	
ため池管理者	尻深水利組合		ため池規模	16 ha
連携活動状況				



事業主体	尻深水利組合
連携相手	地域住民(非農家)及び海外留学生
活用事業名	市町村単独事業
課題・取組内容	<p>農地・水保全管理支払交付金により農業者が主体となり管理しているため池において、将来の維持管理体制の充実を図るため、地域住民が参加しやすいイベントとして「池干し」を実施。</p> <p>ため池に対する理解を深め、住民(農家、非農家の大人から子供、企業研修の海外留学生まで)が協働で行う維持体制作りを目指している。</p>
工夫した点等	<p>継続的な参加に繋げるため、池干し後に地元の食材を用いた交流会を開催。</p> <p>ため池の危険性を実感してもらうため、池の深さや法面の傾斜、施設の構造などを実際に体験してもらった。</p>
成果・今後の課題	<p>非農家や海外留学生などとの交流が深まった。</p> <p>ため池への地域住民の注目が集まった。</p> <p>継続的な取組として実施すること及び日常管理への参加者の拡大が課題。</p>
その他	<p>この活動は、築上町で助成金を支給している築上町中山間地域活性化協議会と上城井地区自治会(6自治会)で行う地域啓発活動(イベント)の一環で、4~5万円の活動費用で行っている。</p> <p>参加者は町広報や防災無線等での呼びかけにより、各自治会や地域団体から約80名。</p>

都道府県名	佐賀県	市町村名	玄海町	
ため池管理者	玄海町（日の出松水利組合）		ため池規模	16 ha
連携活動状況				



活動組織	有浦地区農地・水・環境保全組織
連携相手	一
活用事業名	農地・水保全管理支払交付金
課題・取組内容	9月に佐賀県内の小学生が、ため池で溺れる水難事故が発生したことに伴い、同様の事例が発生しないようにため池を管理している町内の農地・水組織に所属している水利組合に打診し、全ての組合から同意を得て看板の設置を行なった。
工夫した点等	既にため池の管理(点検、除草等)を実施し、予算が少ない組合については、看板メーカーから購入せず、ラミネートした看板を作成する等費用削減を実施した。
成果・今後の課題	何も設置されていなかった状態と比較し、池周辺で遊ぶ児童が少なくなった。
その他	看板代1枚7,500円、日当1人3,500円(農地・水) 参加人数2名(日の出松水利組合員)

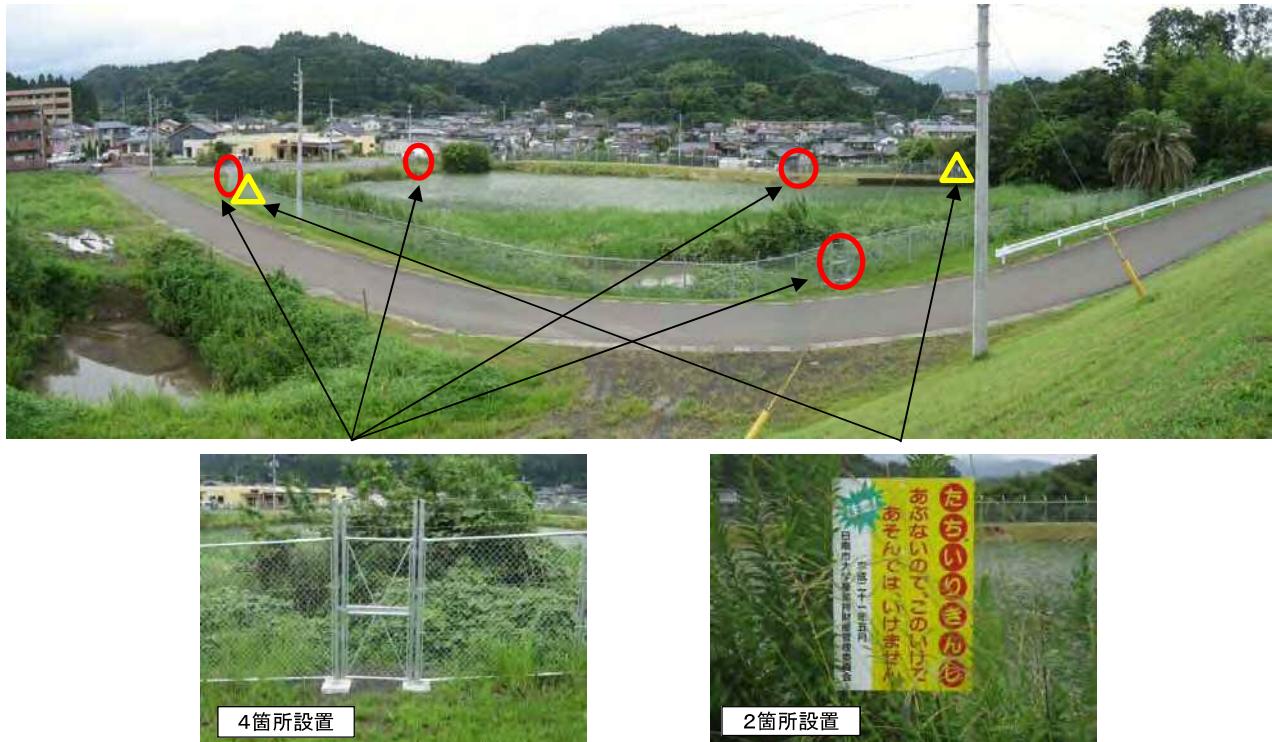
都道府県名	佐賀県	市町村名	唐津市	
ため池管理者	蕨野区		ため池規模	35.5 ha
連携活動状況				



活動組織	蕨野地区の農村環境を守る会
連携相手	一
活用事業名	農地・水保全管理支払交付金
課題・取組内容	<p>堤防が脆弱化し、防災面からも改修を要したことから、平成17年度から20年度において、ため池等整備事業による堤体の改修工事を実施した。</p> <p>一方、通常の維持管理(施設点検・草払い作業等)において、農業後継者不足などの要因で維持管理に支障をきたしていた。</p> <p>そのような状況の中、平成19年度から農地・水・環境保全向上対策に取り組み、非農家を含め、集落全体において農業用施設の維持管理を行った。</p>
工夫した点等	<p>農地・水の活動組織内の非受益者(農業者以外)を含めた共同活動の実践により、地区住民総意に基づく、適切な農業用施設の維持管理を行った。</p> <p>また、“蕨野の棚田”における様々な取り組み(ブランド棚田米の生産・販売、各種イベント活動など)への機運が高まる中、棚田の水源地としてのため池の維持管理保全についても地区住民の意識が高まった。</p>
成果・今後の課題	<p>当該ため池の受益地は、「日本の棚田百選」、「重要文化的景観」に選ばれた“蕨野の棚田”であり、NPO法人 蕨野の棚田を守ろう会などの活動組織等による棚田米の生産・販売、都市住民との交流事業や棚田保全活動を積極的に展開しており、望ましい農地・水・環境保全管理形態が構築できた。</p>
その他	<p>H23 農地・水保全管理支援交付金(共同活動支援交付金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体事業費 1,655,825円 ・うち、溜池の保全管理等に要した経費 160,000円

都道府県名	熊本県	市町村名	熊本市	
ため池管理者	白土用水管理組合		ため池規模	6 ha
連携活動状況				
活動組織	西里地域農地・水環境保全管理協定運営委員会			
連携相手	-			
活用事業名	農地・水保全管理支払交付金			
課題・取組内容	<p>本ため池の上流部にあったため池が災害等でつぶれたことにより、近年、土砂流入が見られるようになったが、地域には浚渫する費用がなく困っていた。</p> <p>このため、本交付金事業を活用し、周辺の草刈や、水抜きによるゴミの除去を行った。</p>			
工夫した点等	<p>本交付金事業による取組前は、管理組合が活動を行っていたことから、地域住民の協力を得られ連携がスムーズに行えた。</p>			
成果・今後の課題	<p>ため池内には、未だヘドロの堆積があり、周辺部には竹が茂っているため、竹については共同活動で引き続き管理し、堆積物については向上活動にて平成26年度に浚渫を行う計画としている。</p>			
その他	<p>活動への参加人数は毎回12人～15人程度。</p> <p>活動経費は日当1,000円×参加人数+草刈機台数×500円。</p> <p>向上活動については、250m³で300万円程度を予定している。(バキューム)</p>			

都道府県名	宮崎県	市町村名	日南市	
ため池管理者	日南市大字星倉持財産管理委員会		ため池規模	0.3 ha
連携活動状況				



事業主体	日南市大字星倉持財産管理委員会
連携相手	自治会
活用事業名	市単独土地改良事業
課題・取組内容	住宅地に隣接し、不特定多数の人が近づくことが可能なため、転落事故の発生等が懸念されることから、地区において、防護柵設置を行った。
工夫した点等	自治会の取り組みの一環として、安全施設を設置することで、地区的財産としての意識付けを図り、地域住民へため池の存在を周知し、転落事故防止の啓発に努めた。
成果・今後の課題	地区的財産として、安全管理と維持管理を徹底されることで、ため池の状況等がきめ細かに監視され、施設の異常等に対し、迅速な対応が可能となった。
その他	工事概要 転落防止柵設置(H=1.8m L=266m) 工事費用 2,341,500円(地区施工) 内、市単独補助1/3(780,000円)

ため池の保全・管理活動事例集

平成25年6月

【お問い合わせ窓口】

農林水産省 農村振興局 整備部 防災課	03-6744-2210
東北農政局 整備部 防災課	022-263-1111
関東農政局 整備部 防災課	048-600-0600
北陸農政局 整備部 防災課	076-263-2161
東海農政局 整備部 防災課	052-201-7271
近畿農政局 整備部 防災課	075-451-9161
中国四国農政局 整備部 防災課	086-224-4511
九州農政局 整備部 防災課	096-211-9111
沖縄総合事務局 土地改良課	098-866-0031